

〔ワケネギ「東京小町」の周年栽培体系における生育特性の解明〕
ワケネギ3系統のハウス栽培における収穫適期および収量性の把握

吉原恵子・野口 貴*・木下沙也佳・海保富士男
(園芸技術科) *現農振事

【要 約】ワケネギの各作型におけるハウス栽培の収穫適期は、在来系統や埼玉優良系統に比べて「東京小町」は遅い。また、総じて「東京小町」は、上物重や上物本数が2系統に比べて低いものの、上物1本重は高い傾向にある。

【目 的】

ワケネギ「東京小町」のパイプハウス栽培における作型ごとの収穫適期および収量性について、在来系統（以下、「在来」）や埼玉県優良系統（以下、「埼玉」）と比較しながら解明し、今後の資料とする。

【方 法】

「東京小町（以下、「小町」）、在来、埼玉」を2023年10月から概ね1ヵ月ごと（表1）に雨よけパイプハウス内の銀黒マルチ9220を敷設したベッドに1本植した。施肥はN-P₂O₅-K₂Oを成分量20-20-20kg/10a全量基肥とした。収穫調査は10～5月定植は3系統の生育を考慮しつつ同日に行い、6月定植以降は「小町」の収穫適期を把握するために株あたり上物本数が概ね20～30本の時期を収穫適期とし、上物本数30本に達するまで段階的に実施した。

【成果の概要】

1. 定植時期別の収穫適期については、10月定植の6月収穫では、3系統ともに株あたり上物本数が25本前後で収穫適期であった（表1）。11月および1月定植の6月収穫は、3系統ともに収穫が早すぎたが、11月定植に比べて1月定植の株重や調整重、上物重、上物1本重が高い値を示した。このことから、12～2月の冬期は分けつの生育がほとんど進まないものと考えられた。2月定植の7月収穫では「在来、埼玉」は収穫適期で「小町」はまだ早かった。3月定植の8月収穫では「在来、埼玉」は収穫適期で「小町」もほぼ収穫適期だった。このことから「小町」の11月～2月定植は、遅くとも8月中旬までに収穫適期を迎えるものと考えられた。4月および5月定植においても「小町」は、他の系統に比べて収穫適期は遅くなった。
2. 6月定植の12月収穫の結果から「小町」の6月定植は年内収穫できないことがわかった（表2）。7月定植の3月収穫は「在来、埼玉」で収穫が遅れ、「小町」はまだ収穫が早かった。その後の5月収穫の結果から、「小町」の収穫適期は4月中であると思われた。同様に、8月定植における「小町」の収穫適期は5月中旬と思われた。9月定植は「在来、埼玉」の抽苔の影響で上物本数は低く推移したが、「小町」はほとんど抽苔がみられなかったため、上物重が高くなった。各作型において、総じて上物重や上物本数は「小町」が他の系統に比べて低かったものの、上物1本重は高い傾向がみられた。

【残された課題・成果の活用・留意点】

本試験で得られた結果は、雨よけ栽培によるものである。

表1 ハウス栽培における定植時期別の収量性 (2023年10月から2024年5月定植)

定植日	収穫日	栽培 日数	品種・ 系統	株重		調整重 ^a		上物重		調整本数		上物本数 ^b		上物1本重		葉鞘径 ^c mm	収穫日の適否 ^d				
				g/株	g/株	g/株	g/株	本/株	本/株	g/本	g/本	早	適	遅							
10月18日	6月3日	229	在来	1288	908	654	50	22	29	8										○	
			埼玉	1658	1012	716	59	24	35	8										○	
			小町	1567	1092	792	58	24	42	9										○	
11月24日	6月25日	214	在来	486	329	244	30	14	18	11										○	
			埼玉	342	247	176	27	12	16	14										○	
			小町	351	238	177	21	9	22	13										○	
1月25日	7月26日	149	在来	605	410	324	25	14	25	16										○	
			埼玉	622	412	315	26	14	23	15										○	
			小町	888	516	401	32	13	31	15										○	
2月28日	8月13日	138	在来	661	478	321	50	23	16	7										○	
			埼玉	597	436	304	46	24	13	10										○	
			小町	513	326	183	39	13	17	7										○	
3月28日	9月18日	147	在来	751	564	397	52	28	14	8										○	
			埼玉	598	446	304	45	24	14	8											○
			小町	466	354	245	37	18	16	9										○	
4月24日	10月21日	166	在来	925	665	381	79	32	13	8										○	
			埼玉	1092	744	459	79	35	13	8											○
			小町	445	285	198	26	15	17	9										○	
5月8日			在来	901	626	367	89	39	13	6										○	
			埼玉	639	435	239	71	26	10	6										○	
			小町	568	366	321	16	13	30	9										○	

注) a: 葉身2~3枚になるように皮むき調整した後の分けつの総重量 b: 葉身2枚以上かつ葉長40cm以上の分けつ c: 葉鞘中央部の短径を測定 d: 当該の収穫日について早: 早い, 適: 適期, 遅: 遅い

表2 ハウス栽培における定植時期別の収量性 (2024年6月から9月定植)

定植日	収穫日	栽培 日数	品種・ 系統	株重		調整重 ^a		上物重		抽苔重		調整本数		上物本数 ^b		上物1本重		葉鞘径 ^c mm	収穫日の適否 ^d			
				g/株	g/株	g/株	g/株	g/株	g/株	本/株	本/株	g/本	g/本	早	適	遅						
6月26日	11月28日	155	在来	793	543	458	0	25	19	24	9										○	
			埼玉	695	511	383	0	29	19	21	8											○
			小町	473	314	298	0	9	8	39	12											○
6月26日	12月20日	177	在来	766	508	456	0	19	16	27	11										○	
			埼玉	959	698	540	0	37	27	25	11											○
			小町	798	560	420	0	16	11	42	15											○
7月29日	3月25日	239	在来	1536	1238	1055	-	51	35	30	9										○	
			埼玉	1615	1307	1130	-	51	37	31	8											○
			小町	1281	904	769	-	25	13	60	11											○
7月29日	5月7日	282	在来	2016	1409	810	140	98	25	36	9										○	
			埼玉	1990	1450	1074	11	93	34	38	9											○
			小町	1899	1280	1152	7	52	35	35	7											○
8月28日	4月1日	216	在来	1871	1441	1207	-	56	36	37	8										○	
			埼玉	1879	1484	1224	-	52	34	40	8											○
			小町	1035	661	506	-	23	9	60	10											○
8月28日	5月8日	253	在来	1871	1255	675	340	67	21	39	9										○	
			埼玉	2332	1606	1286	0	105	39	34	8											○
			小町	1943	1343	1174	0	60	35	41	8											○
9月20日	4月14日	206	在来	2141	1694	454	1175	40	13	33	7										○	
			埼玉	1839	1459	779	598	39	20	40	8											○
			小町	1285	909	769	6	24	12	70	13											○
9月20日	5月8日	230	在来	1777	1407	791	504	57	23	35	8										○	
			埼玉	1703	1390	358	916	46	11	34	8											○
			小町	2209	1376	1153	30	66	33	42	8											○

注) 注釈の内容は上表と同様。-は欠測



在来

埼玉

小町

図1 3系統の抽苔の様子 (写真内の配列: 左から上物, 抽苔, 下物の分けつ)